

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	資源ごみリサイクル事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030300 - 066	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	03 リサイクルの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律			
■関連計画の名称	北上市環境基本計画、北上市ゴミ処理基本計画			
■事業の目的と概要	住民のリサイクル意識の高揚。可燃・不燃ごみの減量。職員による委託業者との連絡調整、収集の広報、分別の啓発。委託業者は、資源ごみステーションを収集車で巡回し、種別ごとに収集する。収集したごみは委託している民間の中間処理施設へ運搬する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	資源ごみ収集運搬	市民	資源ごみステーション数 381箇所(2月末)資源ごみ量:4,000t民間業者での拠点回収が浸透してきたため新聞・雑誌の落ち込みが大きく、分別収集計画との乖離が発生してきたため、実績値で算出。	資源ごみステーション数 382箇所資源ごみ量:3,777.1t 缶・紙パックの落ち込みが大きい
02	資源ゴミ加工保管	市民	資源ごみステーション数 381箇所(2月末)加工保管量 4,000t民間業者での拠点回収が浸透してきたため新聞・雑誌の落ち込みが大きく、分別収集計画との乖離が発生してきたため、実績値で算出。	資源ごみステーション数 382箇所加工保管量3,777.1t
03	資源ゴミ再商品化	市民	再資源化量1,600t(その他色のびんについては、増加傾向にあるものの、茶びんの落ち込みがあり、総量として横ばいの傾向であるため。)	資源ごみステーション数 382箇所再資源化量1,251.45t(再資源化品目:びん、PET、その他プラ)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	100,546	99,596	108,314	108,513	
人件費	4,013	1,450	921	968	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	104,559	101,046	109,235	109,481	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	リサイクル率	0.227	0.214	0.203	0.194	ごみ総量に対する資源ごみの量
02	資源ごみの量	4,263	4,083	3,836	3,777	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

不燃ごみ及び資源ごみが減少している中、可燃ごみが増えているため、ごみ総量は、横ばいで推移しているが、資源ごみ量が減少傾向であるため、リサイクル率は低下している。

問題点・課題等

集積所における不適正排出状況を見ると、分別がしっかりとされず、資源ごみが他の可燃ごみと混在し、可燃ごみとして排出されることが依然として見受けられる。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

大きな不利益やリスクが生じる

ある程度の不利益やリスクが生じる

不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■ 事業の見直し方策

■ 今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了